

中期目標 基本方針

市民によって支えられている大学であることを強く自覚し、**不断の改革を実行することを通じて、地域に愛され、地域の力になる公立大学として持続的に発展していくため、自律的かつガバナンスを強化した大学運営を推進し、知の拠点としての使命を果たす。**

中期計画 基本方針

上田市の要請に応え、**地域の期待に応える公立大学として発展することを目指し、大学を取り巻く社会経済情勢を踏まえながら、学部学科再編、コンプライアンスの徹底などの第1期中期計画からの課題に具体的な対策を講じ、中期目標に掲げた大学改革に学生・教職員が一体となって取り組む。**

重点取組事項

学部学科再編を中心とする大学改革の推進

- 新たな学問領域として「理工系領域」の新学部設置
- 新棟建設など魅力あふれるキャンパスの実現
- 学術院の設置による教員組織の見直し
- 積極的な外部資金の獲得による財政基盤の強化

教 育

◆教育水準の向上

- ・「地域活性化人材育成事業～SPARC～」による地域活性化人材の育成
- ・全学的なSTEAM教育の展開による文理融合教育の推進
- ・地域協働型教育の体系化等による全学的な課題解決型教育の推進
- ・全学部で卒業研究・論文を必修化

◆教学マネジメントの確立

- ・学修ポートフォリオの導入等による学修成果の可視化など学修者本位の教育を推進する体制の整備
- ・3ポリシーの継続的な検証、見直しによる教育の質保証を推進

◆入試制度改革

- ・入学者選抜制度の継続的な見直しによる志願者確保
- ・大学院の入学定員の充足に向けた取組の推進

◆学生サポートの充実

- ・学生の希望する進路実現に向けた就職及び進学支援の充実

数値 指標

- ▶地域協働型教育の件数 60件以上／年
- ▶学生の学修到達度 4段階評価の上位2位 70%以上／年
- ▶一般選抜（前期日程）の実質倍率 1.5倍以上／年
- ▶入学者の県内出身者 入学者数の37%以上／年
- ▶大学院の入学定員充足率 100%／R9年度
- ▶就職希望者の就職率 98%以上／年

研 究

◆研究水準の向上

- ・競争的外部資金の申請・採択件数の増加
- ・受託研究・共同研究の推進による地域のニーズに対応した研究の推進
- ・附属研究所「淡水生物学研究所」「地域共生福祉研究所」を活用した研究力強化

◆研究成果の地域への還元

- ・研究シーズを企業等に積極的な結びつけ、地域課題、政策課題への具体的な提言を実施

数値 指標

- ▶競争的外部資金の新規申請率 50%以上／年
- ▶科研費新規採択率 20%以上／年
- ▶著作・学術論文 1編×専任教員数以上／年
- ▶学会発表・報告 1編×専任教員数以上／年
- ▶受託・共同研究数 累計12件以上／R10年度までに

国際化

◆グローバル人材の育成

- ・到達目標の設定等による外国語教育の推進
- ・授業科目における外国語による授業の導入
- ・海外大学との教育研究交流活動の推進

◆留学体制・国際交流

- ・海外留学希望者の増加に向けた支援の充実
- ・海外協定校等からの留学生の受入れ

数値 指標

- ▶海外大学との教育研究交流活動取組数 3件／年
- ▶海外留学生数 5件／年

地域貢献

◆地域づくり総合センターの機能強化

- ・研究分野の推進、管理及び統括機能を加え、研究と結びつけた地域貢献を推進
- ・地域の産業界、地域団体、自治体等とのネットワークの強化・充実
- ・高大連携の強化、県内小中学校での地域協働教育の実施による地域の人材育成を推進
- ・生涯学習、学び直しに資する市民向け講座の実施

数値 指標

- ▶地域の企業、団体、自治体等との協働活動数 90件以上／年
- ▶まちなかキャンパス利用者数 2,500人以上／年
- ▶公開講座数 15講座以上／年

大学運営

◆多様性のある組織運営

- ・理事長と学長のリーダーシップによるガバナンスの強化推進
- ・ジェンダーバランスを考慮した人材登用の推進

◆教職員の意識改革と働き方改革の推進

- ・大学運営の透明性を確保し、コンプライアンスの徹底やハラスメント防止に向けた取組を推進
- ・事務職員の時間外勤務の縮減、教員の専門業務型裁量労働制の導入

数値 指標

- ▶理事会・審議会構成員の女性割合 各30%以上／R10年度までに
- ▶教職員の女性割合 40%以上／R10年度までに
- ▶理事会の外部登用割合 50%以上／年